

東京電力から皆さまへ



原子力発電所で事故が起きたら、 どうやって行動すればいいの？

事故が起きたときは、まず、正しい情報の入手をお願いいたします。

事故の状況については、東京電力からの情報発信に基づき、公共機関などが広報や報道を行います。また、事故の拡大を食い止めることができず、「原子力災害」になる恐れがある場合は、国が、屋内退避や避難など、被ばくを避けるために必要な行動を示しますので、これらに関する広報や報道をもとに、落ち着いた行動をお願いいたします。

正しい情報の入手



落ち着いた行動

屋内退避

近くの建物に入り、放射線の影響を避ける



避難

決められた退避場所に移動する



発電所からの距離や災害の状況などにより行動する内容は異なります。

- 原子力災害とは | 原子力発電所の事故により、発電所から放射線や放射性物質が外に出てしまう災害のことです。原子力災害によって、放射線を受けたり、放射性物質を吸い込んだりすることを被ばくといいます。

原子力災害になったら、 たくさん被ばくしてしまうの？



柏崎刈羽原子力発電所では、原子力災害を起こさないように、何層にもわたる安全対策をすすめています。

しかし、発電所の事故によって、発熱し続ける燃料を冷やすことができないと、燃料を格納している容器の圧力が高まって破損し、放射性物質が外に出てしまいます。このため、容器内の蒸気を外に逃がす「ベント」という操作を行い、圧力を下げることで破損を防ぎます。

フィルタを通してベントすることで、放射性物質が大量に外に出るのを防ぐことができますが、皆さまの被ばくがなるべく少なくなるような様々な方法を、引き続き検討していきます。

放射性物質の 拡がりについて 調査しました

発電所の外に出た放射性物質がどのように拡がるかについてのシミュレーション結果を取りまとめました。

東京電力ではこの結果をもとに、原子力災害時に「どうすれば皆さまの被ばくが少なくなるのか」や「避難についてどのようなお手伝いができるのか」を検討しています。

シミュレーション
結果はこちら



東京電力は、福島原子力事故を忘れることなく、安全を追求し続けます

ホームページ 新潟本社

<http://www.tepco.co.jp/niigata/index-j.html>

東京電力新潟本社



お問い合わせ 新潟本社

025-283-7461

9:00~17:00(土日・祝日・年末年始除く)



東京電力

新潟本社